

## 当科の診療実績

---

- (1) 冠動脈疾患の検査・治療
  - (2) 大動脈弁に対するカテーテル治療
  - (3) 閉塞性動脈硬化症の治療
  - (4) 心臓リハビリテーション
  - (5) 不整脈に対する治療
- 

### (1) 冠動脈疾患の検査・治療

当院では、1982年に心臓カテーテル検査、1984年にPCI（冠動脈インターベンション；カテーテル治療）を開始し、毎年1000例程度の心臓カテーテル検査、累計9000例以上（2021年6月現在）のPCIを行っています。予定のPCIの多くは1～2泊で退院可能となっています。

#### 冠動脈インターベンション件数

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
302	307	301	328	234
うち緊急 78	85	70	72	63

### (2) 大動脈弁に対するカテーテル治療

大動脈弁狭窄症に対する治療は、全身麻酔下に胸を開けて行う開胸手術が標準治療でしたが、カテーテルを用いた経カテーテル的大動脈弁留置術（TAVI）が日本でも行えるようになり、適応が拡大しています。当院では京都府下において両大学病院に次いで3番目に認定施設となり、2018年7月より開始致しました。2021年7月現在、60例を超え、大きな合併症無く順調に実施できております。

#### 経カテーテル的大動脈弁留置術件数

2018年	2019年	2020年
9	23	21

### (3) 閉塞性動脈硬化症の治療

主に下肢の動脈に動脈硬化による病変を生じ、歩行時の下肢の痛みなどの症状が出現

する疾患です。内服薬による治療で不十分な場合、カテーテル治療や人工血管によるバイパス手術を行います。当院では、心臓血管外科との連携も十分にいき、患者さんごとの状態や病変の性質を考慮して治療法を検討しています。近年は糖尿病を合併した方や高齢の方で重症下肢虚血による足趾潰瘍。壊死の方への治療も増加しております。透析に使用するシャント血管のカテーテル治療の経験も豊富です。

#### 末梢動脈インターベンション件数

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
105	73	96	119	108

#### (4) 不整脈に対する治療

不整脈で当科を受診される方は極めて多く、そのニーズにこたえるため不整脈専門のアブレーション外来、ペースメーカーや植込み型除細動器（ICD）を植え込まれた方対象のペースメーカー外来を開設しています。

不整脈に対する治療としては、薬物治療、ペースメーカー、カテーテルアブレーション治療を行っています。カテーテルアブレーションは、不整脈の原因となっている電気的な乱れに対して、カテーテルを使ってその部位にやけどをつくって乱れを直す治療法です。対象は、心房細動、WPW 症候群、上室性頻拍（房室結節回帰性）、心房粗動、心室頻拍などです。近年は心房細動の方が増加しており、脳梗塞や心不全悪化の原因となることが多く、治療のニーズは年々増加しております。当院では、数日間の入院で根治となりうるこの治療法を、最新の知見に基づき、最新の機器を用いて治療成績を上げられるように日々勤めております。

また、当院では徐脈性不整脈（脈が極端に遅くなる疾患）に対するペースメーカー治療を1995年から行っており、累積の治療数は1500例を超えました。重症心不全に対する両心室ペースメーカー（CRT）や重症不整脈に対する植込み型除細動器（ICD）の手術も行っており、より重症の方にも対応できる体制を整えています。

#### カテーテルアブレーション件数

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
38	145	206	224	225

#### ペースメーカー・デバイス手術数

	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
合計	107	89	86	97	69
うちICD/CRT	31	19	26	29	14

## (5) 心臓リハビリテーション

当院は病院建物の新築に伴い 200.315 m<sup>2</sup>の心臓リハビリテーション室を新たに設け、2007年4月に心大血管リハビリテーション施設基準 (I) の承認を得ました。この恵まれた施設を利用し、急性期のリハビリだけでなく外来での通院リハビリも行っています。

運動療法を中心とした心臓リハビリテーションの有効性や重要性は多くのデータで立証されていますが、実際に継続して取り組むのは難しい面もあります。当院では分かりやすいパンフレットやノートを作成し、運動や食事、生活習慣の注意などに関する教育的なプログラムにも力を入れております。また、近年増加する心不全患者さんにおいても、より良い生活レベルの維持や予後の改善のためには心臓リハビリテーションが欠かせません。当院には心臓リハビリテーション学会が認定する心臓リハビリテーション指導士が13名、上級指導士・認定医が3名、更には慢性心不全看護認定看護師が2名在籍しており、全国でも有数のスタッフを有してチームとして関わりを行っております。さまざまな職種が一人一人の患者さんのニーズに沿った形でかかわれることを目指しています。

### 心臓リハビリテーション実施件数

2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
11189	11489	11438	10839	7326

※2020年は新型コロナ感染の拡がりで一時外来心臓リハビリテーションを休止しておりました